

科目ナンバリング		U-LAS03 10006 SB48							
授業科目名 <英訳>		外国文献講読（法・英）I-E1 Readings in Humanities and Social Sciences (Law, English)I-E1			担当者所属 職名・氏名		法学研究科 教授 佐藤 団		
群	人文・社会科学科目群		分野(分類)	外国文献研究			使用言語	日本語	
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（対面授業科目）		
開講年度・ 開講期	2026・前期		曜時限	月4		配当学年	2回生以上	対象学生	全学向
【授業の概要・目的】									
ヨーロッパ法の歴史に関する文献講読を通じて、現行の日本法（学）の背景にあるヨーロッパにおける法の歩みについて基礎的な知識を身につけるとともに、精確かつ批判的に外国語文献を読む訓練を行う。									
【到達目標】									
<ul style="list-style-type: none"> ・英語文献の読解力を高める。 ・精確な日本語訳ができるように、日本語の表現力を高める。 ・現代法（学）の歴史的背景について基礎知識を身につける。 									
【授業計画と内容】									
第1回 イン트로ダクション 授業の進め方などを説明した上で、分担を割り振る。具体的な配分については、受講生のペースを考慮する。									
第2回～第14回 指定文献の講読 英米法を歴史的観点から論じる下記文献を講読する。 Heikki Pihlajamäki (ed.), Markus D. Dubber (ed.), Mark Godfrey (ed.), The Oxford Handbook of European Legal History, 2018 適宜、ヨーロッパ法制史について必要な解説を行う。									
第15回 期末試験									
第16回 フィードバック（具体的な方法については別途連絡する）									
【履修要件】									
外国文献講読（法・英）は専門への導入コースなので二回生以上を対象とする。									
【成績評価の方法・観点】									
平常点（授業への参加状況、和訳の出来：40%）と期末考査（60%）による。									
【教科書】									
授業に必要な資料はLMS等により配布する。									
----- 外国文献講読（法・英）I-E1(2)へ続く -----									

外国文献講読（法・英）Ⅰ-E1(2)

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

毎回指定される範囲について、担当者が提出した和訳文を参考にしながら予習し、和訳文への論評ができるよう準備しておくこと。

[その他（オフィスアワー等）]

この科目は法学部生を対象に開講される科目です。履修人数に余裕があれば、法学部以外の学生も履修することが可能ですが、法学部事務室で事前申込が必要です。詳細は履修（人数）制限に関するお知らせで確認してください。

[主要授業科目（学部・学科名）]

法学部